

地域の話や行事をはじめ、「これは何?」と感じたことなどを気軽にお知らせください。企画調整課 広報係 ☎0794(35)0609

コミュニティセンターを活用しましょう

レポーター 門倉 敏子さん



▲楽しい一日でした

播磨町には4つのコミュニティセンターがあります。普段、サークル活動に利用されている人も多いと思います。しかし、コミュニティセンターは、自治会活動や人権学習会、子ども会活動など地域の核としての役割も担っています。西部コミュニティセンターでは、コミュニティ委員会活動の一環として1月24日(土)、町外研修で大原美術館と「むかし下津井回船問屋」の見学を行いました。普段、美術館に足を運ぶことも少なく、名画を鑑賞する時間に恵まれ幸いでした。西部コミセンでは、独自の行事として毎月1回、映画会と音楽会をしています。ぜひ一度鑑賞されてはいかがでしょうか。

心の眼をみつめて 一親子の愛情

レポーター 米谷 美代子さん

1月24、25日の両日、南部コミセンで行われた「言見たちが作った粘土像展」の目撃者として、目をみはる粘土像、いびつな塊のような粘土像が並んでいました。1950年から30年に渡り、神戸市立盲学校の生徒たちが作成してきた作品です。「手さぐりの母」中3男子(僕は小さいころ母の口や鼻をよくさわった。目のあたり触れたら、濡れていた。「どうしたの」と聞くと、母は私を高く差し上げた)。「眼がほしい」中3男子(退院の日、先生が父に言った。「この調子では見えないでしょう」僕が悲しむから、僕は眼がほしい)。「母の願い」中3男子(母はいつもとよく言った。「ガンバッター!」嫌な事があつたり悲しい時は、母の言葉を思い出して自分を励ます。母が病気の時「今日は一人で学校へ行くと」と言つと「ガンバッター!」と、母のおいにするハンカチを持たしてくれた)子どもたちの純粋な親に対する想いと、親が子を思う強い愛情にふれ、感慨深いものでした。目は見えなくても、手探りでこのような熱い思いを込めて作った一つ一つの粘土像は、見る人に感動を与える素晴らしい作品でした。その後、岸和田で一年半の間、親から虐待されていた中3男子のニュースがありました。それぞれの親子のあり方にあせんとする思いでした。



冬空の下 播磨町ロードレース大会開催

1月25日(日)、「第26回播磨町ロードレース大会」が行われました。早狩みゆの選り手や西脇工業高等学校、須磨学園高等学校の陸上競技部員の招待選手を含む680人のランナーが、15キロから10キロの15部門に分かれて総合体育館前をスタート。新島内を走るコースでは、海の上を渡る播磨大橋で、傾斜と冷たい風に歯をくいしばる選手の姿も見られ、応援の声にも一段と力が込められていました。各部門の優勝者は表の通りです。



▲国体マスコット「はばタン」も応援

各部門 1位入賞者の氏名とタイム

Table with 4 columns: 部 (Department), 氏名 (Name), タイム (Time), and 備考 (Remarks). Lists winners for 14 different race categories.

一般男子10kmのスタート



初企画 資料館で「はにわ作り」



▲熱心に説明をきく参加者

2月1日(日)、郷土資料館で初めての企画、「はにわ作り」が行われました。定員を超える申し込みがあったほどの人気で、55人の参加がありました。「腰のところに掛けている道具は何?」「鎌かな。どんな形?」など、参加者同士の話もはずみ、踊る人や家、鳥などの古典的な形のはにわのほか、アニメのキャラクターなど思い思いのはにわが出来上がりました。

防災への誓い新たに消防出初め式

1月11日(日)午前9時20分から蓮池小学校グラウンドで新年恒例の「平成16



▲蓮池小学校グラウンドにて

年消防出初め式(加古郡消防協会主催)が行われ、播磨・稲美両町の消防団員ら関係者約450人が参加しました。式典では分列行進が行われ、播磨町から永年にわたり消防活動に精励した消防団員22人、分団2分団が表彰されました。また、八木郡協会長から式辞があり、団員たちは災害・火災のない安全なまちづくりへの誓いを新たにしました。昨年1年間の播磨町の火災発生件数は13件で、被害総額は2093万1千円にのぼりました。また、救急車の出動件数は、1041件で、1007人の搬送を行いました。

にぎわった 学童バザー

2月1日(日)、中央公民館大ホールで第7回学童バザーが催されました。

播磨町には、現在各小学校にそれぞれ学童保育所があり、約2500人の児童が放課後や学校の長期休暇の日中を指導員と楽しく過ごしています。当日会場は、家庭で不用になった日用品などのほか、学童に通う子どもたちの手作りのアクセサリーやキーホルダーなどを販売したり、得点によって景品がもらえる輪投げやボーリングなどのゲームコーナーもあり、大勢の人でにぎわいました。



▲ご協力ありがとうございました



このコーナーに登場して下さる「人、仲間たち」をご紹介します。自薦・他薦は問いません。企画調整課

始められたきっかけは?

町人口の割に、音楽団体が少ない。気軽に入会できて、しかもある程度のレベルの高さを保てる合唱団をつくりたいという思いから始めました。

どんなメンバー構成ですか?

月曜日の午後2時からという練習時間に出られる人は限られますので、中高年の女性が多いです。

活動の内容は?

播磨町夏まつりで船上結婚式があります。これを「音つ結婚式」として、合唱でまとめる企画を任せました。「童謡・唱歌の学校」のメンバーと協力し、瀬戸内洋上に美しいハーモニイを響かせました(笑)。

声楽アンサンブル「こだま」

代表者 長尾 禎則さん



▲音楽で人と人を豊かに紡ぐ

レベルの高い指導者によって、メンバーは生まれ変わっていきまます。声楽アンサンブル「こだま」はそれを現実に見せてくれます。

グループのモットーは?

「人と人を豊かに紡ぐ架け橋」それは、音楽である。中でもコーラスはその代表的なジャンルである。

楽しいエピソードがあれば教えてください。

同じパートを練習中、なぜかハモッているんです。みんなが同じ音階を歌っているはずなのに、これはおかしい。また、新入会者が実は子どものころに近所に住んでいた人であり、驚いた。当時から歌がうまいと評判の人だったが、歌は人と人を結び付けているんだなあと実感しました。

## あなたに はつたつち

リレーエッセー⑥7

### 旬の野菜

「JAふぁーみんSHOP」皆さまはご存知ですか。JA兵庫南には7店舗があり、地元の新鮮野菜の常設直売所です。私たち健康保持のため、新鮮で安全、安心な野菜も必要でしょう。当播磨町では他市町に比べ、農地は少ないけれど、私たちが有志が花や野菜を作って、地元の方々に消費して頂く、いわゆる地産・地消に向けて努力しているところです。そのため先進地の、JAや会社の農場を見学して研修を行い、知識の向上につとめています。徳島県上勝町では木の葉が立派な商品になるアイデアを実際に見て感心

させられました。野菜や花を作るには、土、肥料、水と気象条件、そして技術で決まると思っています。私は野菜を作ることに興味を持ち、まず基本からと土作りから始め、たい肥と土のPHを整え、排水を良くして、日当たりと輪作を考えて連作障害の起きないように作付けに気をつけます。病虫害にはできるだけ農薬は使用しないけれど、無農薬というわけにはいきません。丹精こめた作物で、自分の納得のゆくものが出来たときの喜びは、作った者以外にはわからないと思います。そんな気持ちで栽培した旬の野菜を、味わって頂きたいと思



佐伯 保さん (野添)

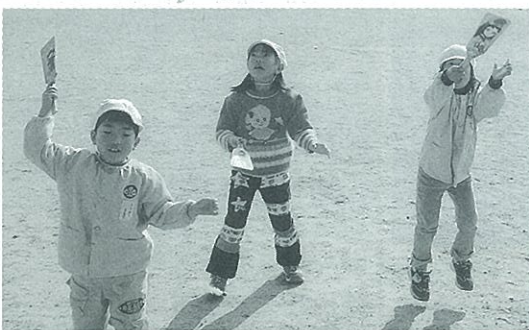
趣味 寺巡り、珍しい野菜作り

「旬の新鮮野菜を食べる」こんな贅沢はないと言われます。しかし現状は、インスタント食品や冷凍食品が巷に溢れて、それらが食卓に上がる。手軽に食事できることから単調になる。それは日本人本来の、米食が減り野菜の消費も共に減少しているようです。そうではなく、むしろ、健康の維持に必要な栄養のバランスをとり、日常生活を快適に過ごしたいものです。私たちの部会では新鮮で安価なものを、顔の見える花や、野菜を出品していきますので、皆さまにご利用して頂ければ幸いです。

○不登校の原因は  
不登校が始まると、「どうしてあの子が突然」「何が原因」と欠席が始まったその日の前後のできごとを聞きだしたし、早く原因を見つけようとしたが、早急で「何が原因だろう」と考える期間は、少なくとも最低数ヶ月はかかる。ぼんやりと考えることが大切で、きつかけがはつきりしない場合は、数年単位でかかる。ぼんやりと考える必要があり、学校に行かない」ということは、子どもにとっては強烈な自己否定であり、少しくらいのストレスでは起こりません。それまでの蓄積した心理的苦痛があるからなのです。

不登校について考える(4)  
不登校への対応は…  
子どもの悩み相談員 松田政雄  
不登校は精神的な疲労が蓄積し、くたくたの状態と同じなのです。精神的回復は月単位、あるいは年単位で考えることです。くつろいだ家庭の雰囲気の中で、リラックスした気分が回復をはかることです。  
○好きなことに熱中できること  
心の中にあるつらいことや、苦しいことを解消する一番の方法は、自分の好きなことに熱中することです。  
一生懸命打ち込むことは嫌なことを忘れさせ、一つのことをやり遂げたという気持ちで自信につながります。  
○子どもの話をよく聴く  
聞き上手は話し上手よりずっと難しいのですが、子どもの苦しい心のうちをよく聴いて、しっかりと受け止めてあげる。そうすることで子どもとの信頼のきずなが作られてゆくの

## 昔の遊びってたのしいな!!



▲羽根つきとっても楽しいよ

### 蓮池保育園

カーン、カーン、カーン…。「ひとめ、ふため、みやこしよめこ」新春のうららかな日差しの中で、懐かしいわらべ唄や心むす羽子板の音が。そして、保育室からも「はーい!!」「えい!!」と、だるま落としにカルタとり、こま回しの音が聞こえ、どの子どもも真剣な表情で夢中で遊んでいます。

昔の遊びと比べても、どの遊びも今の子どもたちの心をときめかせ、つまききそうではないおもしろさがある。とても楽しいですよ。

年中児は年長児の遊び姿を見て、あんな風にしてみたいなどとあこがれながら、「先生、白組さんと一緒に遊んでくる!!」とわくわくしています。いつの時代も色あせず、子どもたちを夢中にさせる昔懐かしい遊び。遊んでいるとホッとする時間を大切にしていきたいものです。

## 親子で遊ぼう!

### 播磨西幼稚園



▲いっぱい遊んでくれてありがとう

1月18日(日)、お家の人と一緒に、3歳児は羽子板、4歳児はこま上げ、5歳児はこま回しをしました。3歳児は、羽根ではなかなか当たらず「おもしろくない!!」と、ご機嫌ななめ。羽根を大きな風船にかけると「いち、に、い、さあーん」と、続き始めてにこに顔。4歳児は、小学校の校庭でこま上げです。「わあ、高く上がった」「空まで届きそう」と大喜び。5歳児は、紐の巻き方やこまの投げ方などを、手に取って教えてもらい、自分でも何回も繰り返し返してやっただんだん回せるようになりまし。また、お父さんが、手のひらでこまを回しているのを見て、「お父さんすごい!」「お父さんみたいにやりたい」などと、親子で楽しいひとときを過ごしました。親子で楽しく遊んだことが、次の頑張りにつながっているようです。

## 命を守る消防士さんってすてきだな

### 蓮池小学校



▲たくさんの機材にドキドキ

1月15日(木)、3年生は消防士の仕事や工夫を知ること目的として、加古川東消防署播磨分署の見学に行きました。喜瀬川沿いの慣れた道を歩き、冬の風と自然を感じながら到着。タンク車、救急車に初めての乗車、そして放水。トレーニング室や2畳の仮眠室の見学。見るもの、聞く事の一つ一つに驚き、感動しながら、命を守る消防士の仕事のたいへんさを実感できました。また、たくさんの人に守られている自分にも気づく事ができた半日でした。

「消防士さんは、わたしたちにとって、命のおんたと思っ」

「消防士の仕事は、初めては、火を消すことだけと思っていたけど、いろいろな役目があるんだなあ」

「24時間、ほとんどねずにはたらいっていることがわかった」

## 第2学年修学旅行(北海道)

### 播磨南高等学校



▲天気もよくて最高でした

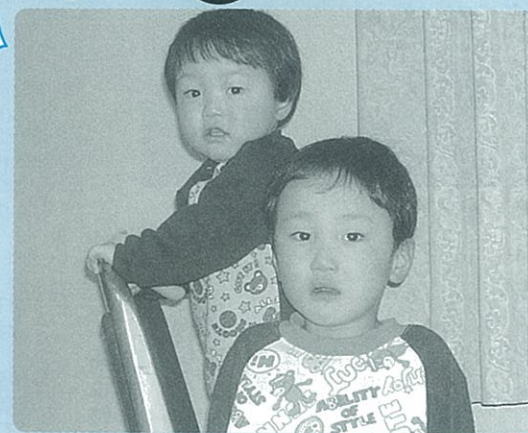
平成15年度の修学旅行を1月28日(水)から31日(土)までの3泊4日で行った。搭乗機が伊丹空港離陸の瞬間、生徒たちから完成が、定期通り新千歳空港に着陸。外気温は思っていたほど寒くは感じなかった。

最初の体験学習は、ポロトコタンでアイヌの伝統文化についての説明と、ムックリの演奏を聴かせてもらった。

2日目からはスキー実習を午前と午後の2回行った。最初は雪上歩行からブルークボゲン、シユテムクリスチャニアなど身に付け、生徒の意欲が技術向上につながった。

天候に恵まれ、山頂から眺めた景色は最高だった。最終日、札幌市内観光をし、全員揃って帰校した。

## わんぱくはりまっ子



ゆうと 井上 友登くん(1さい) しょうや 尚弥くん(4さい)  
北本 荘  
いつも楽しませてくれて  
ありがとう  
(お父さん・お母さんより)



募集  
このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象)広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらっても結構です。